

KENWOOD

CDカセットDSPレシーバー

DPX-500

取扱説明書

お買い上げいただきましてありがとうございます。
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、説明の通り正しくお使いください。
また、この取扱説明書は大切に保管してください。
本機は日本国内専用モデルですので、外国で使用することはできません。

株式会社 ケンウッド
KENWOOD CORPORATION



CONTENTS

■安全上のご注意

安全上の注意事項 3

使用上の注意 8

■本機の特長 12

■操作のしかた

ALL MODE 14

TUNER MODE 18

TAPE MODE 22

CD MODE 26

DISC CHANGER MODE 30

EQUALIZER MODE 36

DSP MODE 40

REMOTE CONTROL MODE 42

接続のしかた 44

取り付けについて 46

故障かな?と思ったら 47

保証とアフターサービス 51

定格 52

安全上のご注意

製品を安全にご使用いただくため、「安全上のご注意」をご使用前によくお読みください。
お読みになった後は必要などきにご覧になれるように大切に保管してください。

絵表示について

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為に、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。近傍に具体的な注意内容が描かれています。



○記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



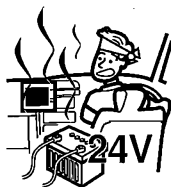
●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。近傍に具体的な指示内容が描かれています。

お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

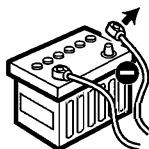
警告



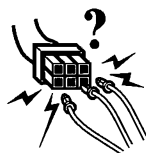
本製品はDC12V⊖アース車専用です。大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車で使用しないでください。火災などの原因となります。



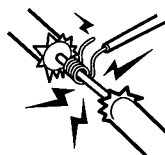
配線作業中は、バッテリーの⊖端子を外してから行ってください。
ショート事故による感電や怪我の原因となります。



本製品の配線は必ず、取扱説明書に記載してある通りに行ってください。
配線を間違えますと、火災、その他の事故の原因となります。



コードの被覆を切って、他の機器の電源を取ることは絶対にお止めください。リード線の電流容量をオーバーし、火災・感電の原因となります。



本製品を前方の視界を妨げる場所や、運転操作の妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には取り付けしないでください。交通事故や怪我の原因となります。



警告



本製品取り付けの際には、必ず付属の取付用部品をご使用ください。取付用付属品をご使用にならないと、製品内部を壊し、ショート事故による火災が起るおそれがあります。また、取り付け不備により運転中に製品が外れて人に当たるなど、怪我の原因となります。



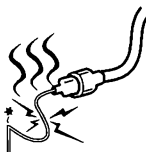
車両の板金部の近くを通るコードには、保護用テープを巻いてください。コードが切れると、ショート事故により、火災となるおそれがあります。



アースコードを取り付ける場所は、ステアリング部やブレーキライン系統などの重要保安部品のボルトやナットに取り付けしないでください。事故などの原因となります。



車両電源配線用コード以外で延長しないでください。コードの被覆が壊れやすく、ショート・発熱事故による火災が起るおそれがあります。また、電流容量オーバーにより、火災が起るおそれがあります。



本製品の取り付け終了後に、車のブレーキランプ、ヘッドランプ、ウィンカー、ワイパーなどが正常に動作することを確認してください。正常に動作しない場合は、正常に動作するように取り付けをやり直してください。



本製品、または車両のヒューズが切れたときは、コードがショートしていないことを確認後、必ずヒューズに表示されている容量（アンペア数）のヒューズと交換してください。規定容量以外のヒューズを使用しますと、火災の原因になります。



事故防止のため、電池やネジなどの小物類は幼児の手の届かないところに保管してください。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師と相談してください。

警告



運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度でご使用ください。



運転者が以下のような行為をするときは、必ず、安全な場所に車を停車させてから、行ってください。

- ・コントロール設定や調整、ネーム入力などのカーオーディオの操作



ディスプレイが表示されない、音が出ないなどの故障状態で使用しないでください。そのまま使用すると、事故・火災・感電の原因となります。



万一、＜異物が入った・水がかかった・煙が出る・変な匂いがするなど＞異常が起きましたら、直ちに使用を中止し、必ずくお買い上げの販売店>にご相談ください。そのまま使用すると、事故・火災・感電の原因となります。



製品を分解したり、改造しないでください。事故・火災・感電の原因となります。

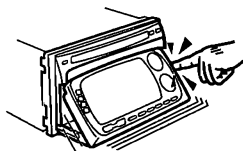


修理は必ず購入店、ケンウッドサービスセンター、または営業所にご依頼ください。

⚠ 注意



ディスプレイ部の開閉中には、手や指を近づけないでください。挟まれて怪我をすることがあります。



カセットテープ挿入口やディスク挿入口に指を入れないでください。怪我をすることがあります。



リモコンは指定の電池以外や新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。また、電池の入れ替えは極性に注意し指示通りに入れてください。乾電池の破裂、液漏れなどにより、火災や怪我の原因となることがあります。



製品は、車載用として以外の用途では使用しないでください。

使用上の注意

8

使用上の注意

■ 本機に接続できるディスクチェンジャーについて ■

本機にKDC-C200、KDC-C300、KDC-C301、KDC-C50、KDC-C55のいずれかを接続するときは、別売品の"CA-DS100"が必要です。別途お買い求めください。また、C705i、C705sr、MD6、MD66を接続するときは、別売品の"CA-KD20"が必要です。別途お買い求めください。

CD/MDチェンジャースイッチングユニット"KCA-S200"を使用するとディスクチェンジャーを2台接続することができます。接続等詳しい説明はKCA-S200に付属の取扱説明書をご覧ください。

なお、KDC-C100、KDC-C302、C205、C205S、C205Z、C705、および他社製のディスクチェンジャーは、本機に接続することはできません。接続すると破損や故障の原因となります。

■ DSP 効果を得るために ■

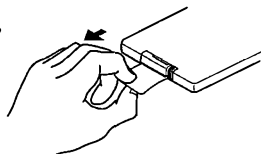
DSP効果を得るために本機は4スピーカーシステムでご使用ください。

■ 取り付け時の注意 ■

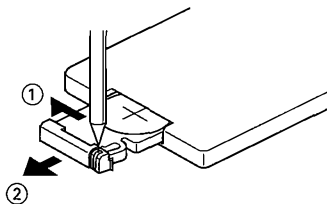
直射日光のあたる場所、熱風のあたる場所、水のかかる場所、しっかりした取り付けのできない場所、振動の多い場所には設置しないでください。

■ カードリモコンご使用のまえに ■

初めてお使いになるときは、バッテリーケースに差し込まれているフィルムを抜き取ってください。



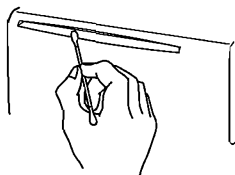
●カードリモコンのリチウム電池交換について
リモコンはリチウム電池（CR2025）を1個使用します。電池の＋はケースの表示にしたがって正しく入れてください。
スイッチを押しても動作しなくなったときは電池が消耗していることが考えられます。新しい電池と交換してください。



■ セットのお手入れについて ■

本機の前面パネルが汚れたときは、シリコンクロスか、やわらかい布でからぶきしてください。固い布や、シンナー、アルコールなど揮発性のものでふくと、傷がついたり、文字が消えることがあります。

●
ディスク挿入口は、ホコリがたまりやすいので、時々掃除してください。ホコリがたまつた状態でCDを挿入するとCDにキズが付くことがあります。

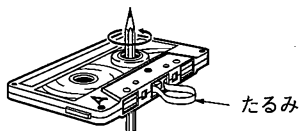


■ セットの異常にお気づきのときは ■

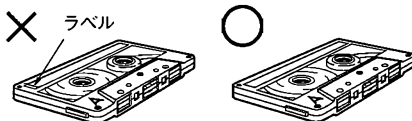
万一、セットの異常にお気づきのときは、まずリセットボタンを押してください。それでも正常に戻らないときは、そのままの状態で購入店、ケンウッドサービスセンター、または営業所へ連絡してください。

テープの取り扱いについて

テープにたるみがあるときは、図のように鉛筆などでたるみをなくしてから使用してください。



変形したカセットテープやラベルのはがれかかったカセットテープを使用すると故障の原因になります。ラベルのはがれかかっているときは、貼り直してから使用してください。



カセットテープをダッシュボードの上、リアトレイの上など高温になる場所や、ヒーターの熱風のかかる場所へは置かないでください。

100分以上のカセットテープは大変薄く、テープがピンチローラーに巻き付いたり、切れるなどのトラブルが起こりやすいので使用は避けてください。

ヘッドクリーニングについて

本機を長時間使うと、ヘッドの表面にテープの磁性粉やゴミが附着し、雑音が出たり音質が悪くなることがあります。このようなときは、クリーニングテープやヘッドクリーニングキットでヘッド部分を掃除してください。クリーニングテープ・ヘッドクリーニングキットはオーディオ専門店やレコード販売店で市販されています。中にはカーオーディオ用としては適さないものもありますので、確認のうえお買い求めください。

結露について

寒いときにヒーターをつけた直後など、本機内部に露(水滴)がつくことがあります。これを結露といい、この状態ではCDの読み取りができなくなることがあります。

このような場合は、CDを取り出して約1時間ほど放置すると、結露が取り除かれます。

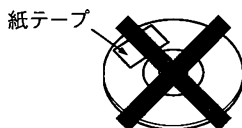
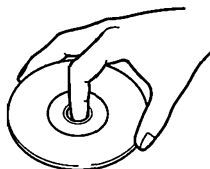
もし、何時間たっても正常に動作しない場合は、購入店、ケンウッドサービスセンター、または営業所へ連絡してください。

使用上の注意

CDの取り扱い

CDの汚れや、ゴミ、きず、反りなどが、音飛びなどの誤動作や、音質劣化の原因になることがあります。取り扱いは、**記録面に触れない**ようにします。

ラベルが印刷されていない面が、記録面です。記録面はもちろんのこと、ラベルが印刷されている面にも、**紙テープなどを貼らない**でください。



CDの保存

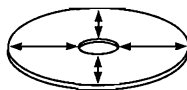
直射日光が当たる場所（シートやダッシュボードの上）など、**温度が高い場所には置かない**でください。

●
長期間演奏しないときは、本機からCDを取り出して、**ケースに入れて保管**してください。きず、汚れ、反りの原因になりますので、ケースに入れずに重ねて置いたり、斜めに立てかけて保存しないでください。

CDのお手入れ

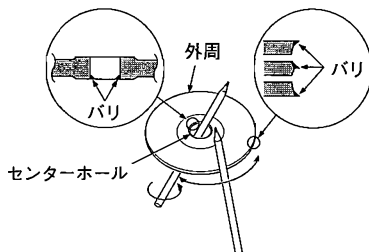
CDが汚れたときは、市販のクリーニングクロスややわらかい木綿の布などで、**中心から外側に向かって軽くふきと**ってください。

従来のレコードクリーナー、静電防止剤や、シンナーやベンジンなどの薬品は**絶対に使用**しないでください。



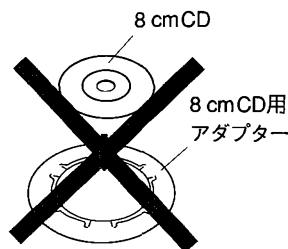
新しいディスクを使うときは

新しいディスクを使うときは、ディスクのセンターホールや外周部に“バリ”がないことを確認してください。“バリ”がついたまま使用すると、ディスクが挿入できなかつたり音とびの原因になります。“バリ”があるときは、ボールペンなどで取り除いてから使用してください。



CD用アクセサリについて

音質向上やディスク保護を目的としたディスク用アクセサリ（スタビライザー、保護シートなど）は故障の原因となりますので利用しないでください。また、市販の8cmCD用のアダプターも使用しないでください。故障となる場合があります。



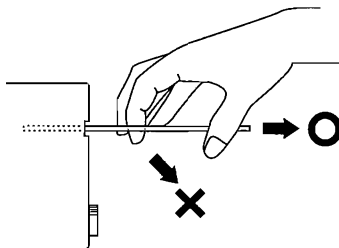
このようなCDは使えません

記録面（ラベル面の反対側）が着色してあるものや汚れているCDは引き込まない、取り出せないなどの誤動作をすることがあります。

CDの取り出しかた

本機からCDを取り出すときは水平方向に引き出してください。

下側に強く押しながら引き出すとCD記録面に傷をつける原因となります。



本機の特長

12

本機の特長

●パネルアングル コントロール

フロントパネル部に自動開閉メカニズムを採用することにより、視認性に優れた大きいディスプレイと、操作性に優れた大きいボタンですぐに情報を確認できます。

●SBF（セレクトバイファイル）

ラジオ受信中に、ステーションネームプリセットで名前を付けた放送局をチューナーメモリー順に表示し、名前で放送局を選択できます。ディスク演奏中に、ディスクネームプリセットで名前を付けたディスクを順に表示し、名前でディスクを選択できます。また、ディスクタイトルが登録されているMDはディスクタイトルでディスクを選択することもできます。

●DSP（デジタルシグナルプロセッサー）

車の中で音楽を楽しもうとしたとき、今一つ思い通りの音にならないことがあります。これは、車室が狭く音響特性が良いとは言えないからです。この狭い空間で音声信号を補正し、車内の音響効果をデジタルコントロールするのがDSPです。

●ホールシミュレーションモード

コンサートホールなどでは、音源から直接聴き手に届く直接音のほかに、壁や天井、床などに反射してから届く反射音があります。反射音には直接音のすぐあとの比較的近い音質の初期反射音と、その後にいるいろいろなところに反射して聴こえる残響音などがあります。また、音は反射するたびに小さくなり、音質も変化しています。広い場所でのこのような反射音を狭い車内で擬似的に再現するのがホールシミュレーションモードです。

コンサート、シアター、ディスコ、ジャズクラブ、サラウンド、マイナスワンの6種類のホールシミュレーションモードがビルトインされています。

●ホールエフェクトレベルセレクト

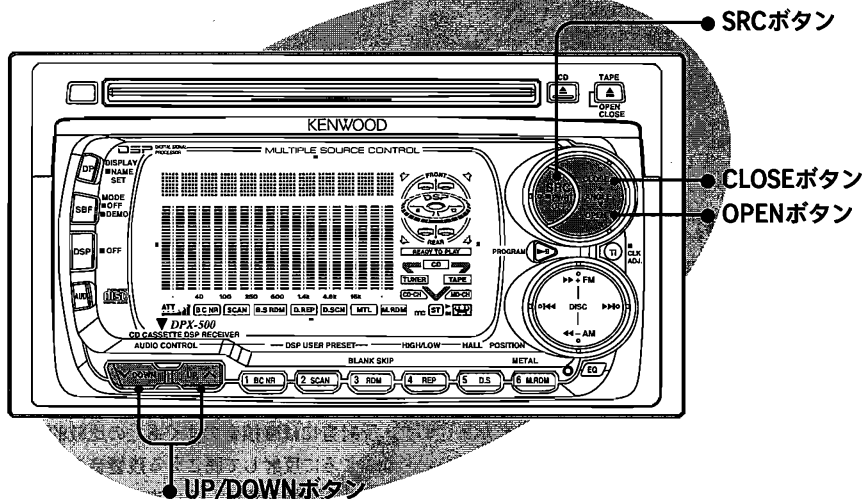
ホールシミュレーション（マイナスワンは除く）に応じてエフェクトレベルを3段階まで調整できます。エフェクトレベルを変えるといろいろな反射音のバランスをとった上で直接音に対する量が変わり、楽器やボーカルなどの音像が変化して聴こえます。

●ポジションセレクト

車内では部屋のようにいつも4つのスピーカーの中心にいられるとは限りません。ポジションセレクトは聴く人の位置に音場の中心を合わせる機能です。

●ユーザーメモリー

お好みのホールシミュレーション、ホールエフェクトレベル、ポジションを組み合わせて3つまでメモリーしておくことができます。



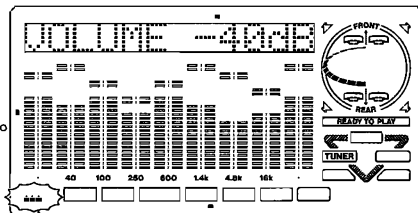
- 1** **パワーON - 電源を入れる-**
SRCボタンを押すと電源がONになります。

メモ

前に電源をOFFしたときのモードになります。

- 2** **パワーOFF - 電源を切る-**
SRCボタンを1秒以上押しと電源がOFFになります。

- 3** **ボリューム - 音量を調整する-**
UPボタンを押すごとに音量が大きくなります。
DOWNボタンを押すごとに音量が小さくなります。
調整するごとに「VOLUME」と表示されます。

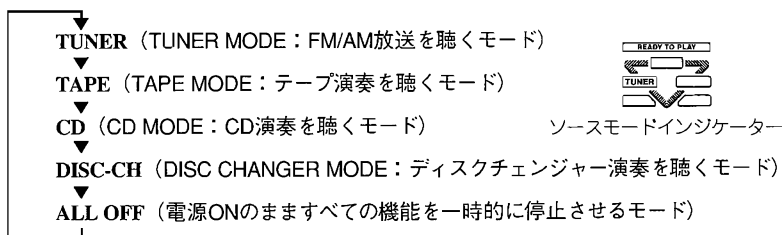


ボリュームインジケータ

4

ソースモード選択 — 聴きたいソースに切り替える —

SRCボタンを押すごとにソースモードが下記の順に表示されます。



選択しているモードはソースモードインジケーターで確認できます。

メモ

- カセットテープ、CDが入っていないときやディスクチェンジャーが接続されていないときはそのモードに切り替わりません。
- ディスクチェンジャーが2台接続されているときはDISC-CH1⇒DISC-CH2の順で切り替わります。

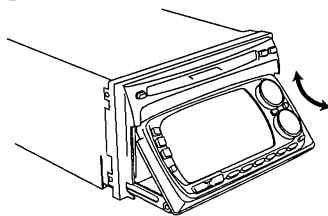
5

パネルアングル調整 — 見やすい角度に調整する —● **パネルをスライドさせる**

OPENボタンを押すごとにフロントパネルが1ステップずつスライドします。押し続けると連続してスライドします。

● **パネルを閉める**

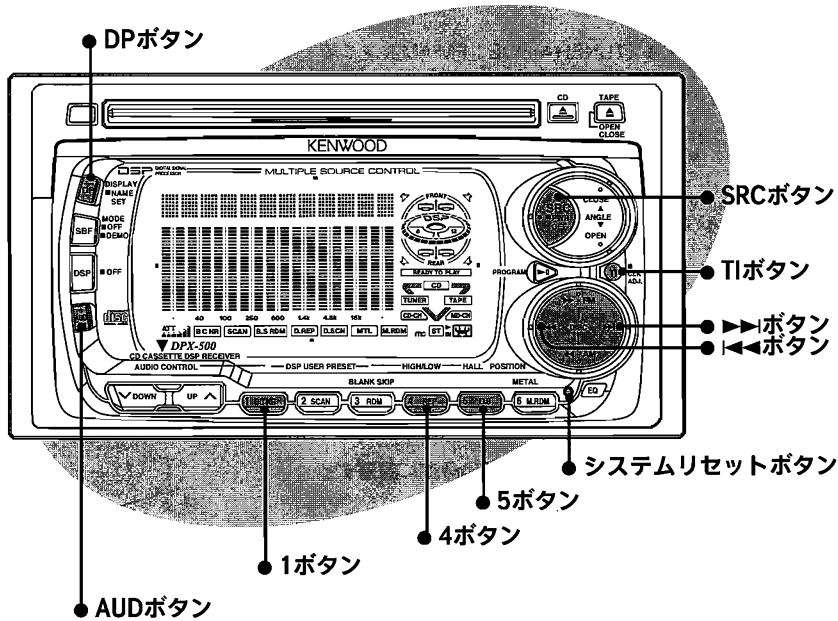
CLOSEボタンを押すごとにフロントパネルが1ステップずつ閉まります。押し続けると連続して閉まります。

**メモ**

- 本機の電源OFF、または車両のACC OFFにすると、約15秒後に自動的にパネルが開まります。
- カセットテープを挿入する場合はTAPE▲ボタンを押してください。くわしくは22ページを参照してください。

注意

パネル角度調整時及びテープの出し入れ時、車によってはパーキング位置にあるシフトレバーなどにパネル部が干渉する場合があります。その場合は、安全に充分注意してシフトレバーなどを動かさずなどして操作を行ってください。



6

オーディオコントロール - バランス/フェダー調整 -

1. AUDボタンを押すとバランス調整モードがONになります。調整モード中、AUDボタンを押すごとにモード表示が下記のように切り替わります。

▶ BALANCE (左右のバランス調整) ▶ FADER (前後のバランス調整) ▶ VOLUME (解除; 音量調整)

2. 各調整モード中にUP/DOWNボタンを押すと設定値が右の範囲で調整できます。調整状態をディスプレイ表示します。

BALANCE 00

バランス; L15~R15

FADER 00

フェダー; F15~R15

3. AUDボタンを1秒以上押すと調整モードがOFFになります。また、5秒間操作を行わないと自動的に解除されます。

7

プリアウト切り替え —フロントプリアウトをサブウーファー用出力に切り替える—

1. SRCボタンを1秒以上押しして電源をOFFにします。
2. 1ボタンと4ボタンを押しながら、SRCボタンを押します。
上記の操作を繰り返すごとにフロントプリアウトがノンフェーディング出力に切り替わります。

メモ

- ノンフェーディングとはFADER（フェダー）で前後にバランス調整してもレベルが変化しない出力で、おもにサブウーファー用パワーアンプを接続するときに使用します。
- ノンフェーディング出力に切り替えた場合、オーディオコントロール調整モードに「N-F」が追加されます。ノンフェーディング調整モード中にUP/DOWNボタンを押すと、設定値が以下の範囲で調整できます。

ノンフェーディング：——～+6dB

8

時計調整 —時刻を合わせる—

1. DPボタンを押して時計を表示させます。
2. TIボタンを押しながら◀◀ボタンを押すと“時”、▶▶ボタンを押すと“分”が調整できます。押し続けると連続で切り替わります。

9

操作音ON/OFF —操作時のピープ音を切り替える—

1. SRCボタンを1秒以上押しして電源をOFFします。
2. 4ボタンと5ボタンを押しながら、SRCボタンを押します。
上記の操作を繰り返すごとにピープ音がON/OFFします。

10

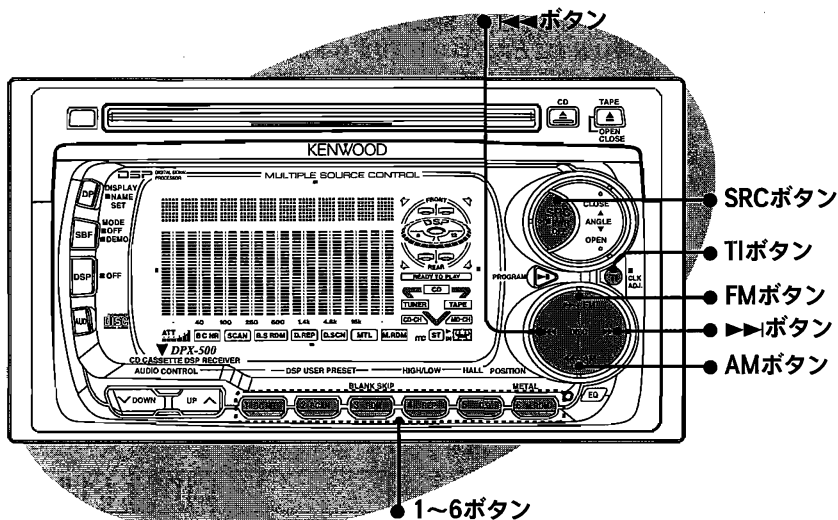
システムリセット

ディスプレイ表示や、本機またはディスクチェンジャーが誤動作したときなど、セッ트에異常が生じたときや、バッテリー交換したときは**システムリセットボタン**を押してください。

メモ

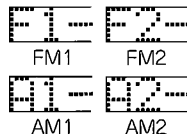
放送局/ディスク名以外のメモリー内容はすべて消去されます。

TUNER MODE



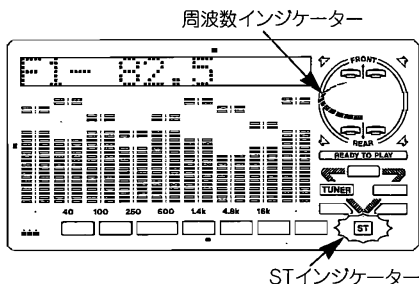
① バンド切り替え - 聴きたいバンドを選ぶ -

1. SRCボタンを押してTUNERを選択します。
2. FMボタンを押すごとに「F1」と「F2」が切り替わります。
AMボタンを押すごとに「A1」と「A2」が切り替わります。
切り替えたバンドが表示されます。



② チューニング - 放送局を選ぶ -

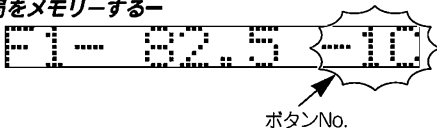
- マニュアルチューニングで選局する
◀ ボタンを押すごとに周波数の低い方へ1ステップずつマニュアルチューニングします。
▶ ボタンを押すごとに周波数の高い方へ1ステップずつマニュアルチューニングします。
周波数の高低を周波数インジケータでお知らせします。
ステレオ放送を受信するとSTインジケータが点灯します。
- オートチューニングで選局する
◀ ボタンを0.5秒以上押しと周波数の低い方へ自動的に放送局を探して受信します。
▶ ボタンを0.5秒以上押しと周波数の高い方へ自動的に放送局を探して受信します。
周波数の高低を周波数インジケータでお知らせします。
ステレオ放送を受信するとSTインジケータが点灯します。



3

チューナーメモリー - 聴いている放送局をメモリーする -

1. 放送局を受信中に1~6ボタンのいずれかを2秒以上押しすと、押したボタンに今聴いている放送局がメモリーされ、ボタンNo.が表示されます。



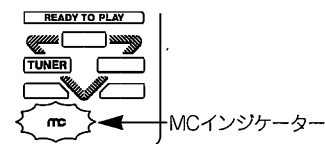
各バンドにそれぞれ6局までメモリーできます。

2. 1~6ボタンのいずれかを押しすとメモリーされた放送局を受信します。

4

モノラル受信切り替え - ノイズを少なくして聴く -

AMボタンを1秒以上押しすごとにモノラル受信がON/OFFします。モノラル受信にすると「MONO ON」と表示され、MCインジケータが点灯します。ステレオ放送の音声はモノラル音声に切り替わります。

**メモ**

- モノラル受信はFMまたはAM放送でそれぞれ設定できます。
- モノラル受信はチューナーモードを切り替えても自動的に解除されません。解除したいときは受信中にAMボタンを1秒以上押ししてください。

5

交通情報 - 交通情報を受信する -

TIボタンを押すごとに交通情報がON/OFFします。ON中は「TRAFFIC」と表示され、交通情報局を受信します。



▶▶/◀◀ボタンを押すごとに周波数が以下のように切り替わります。

▶ 1620 kHz ▶ 1629 kHz ▶ 522 kHz

メモ

- 交通情報はどのモードからでも受信することができます。
- 交通情報受信中は自動的にモノラル音声に切り替わります。またイコライザーカーブはフラット、ボウルトンシミュレーションはバイパスになります。
- 交通情報局ほ上記以外の周波数には切り替わりません。他の放送局の交通情報を聴くときは、TIボタンを押し解除してください。

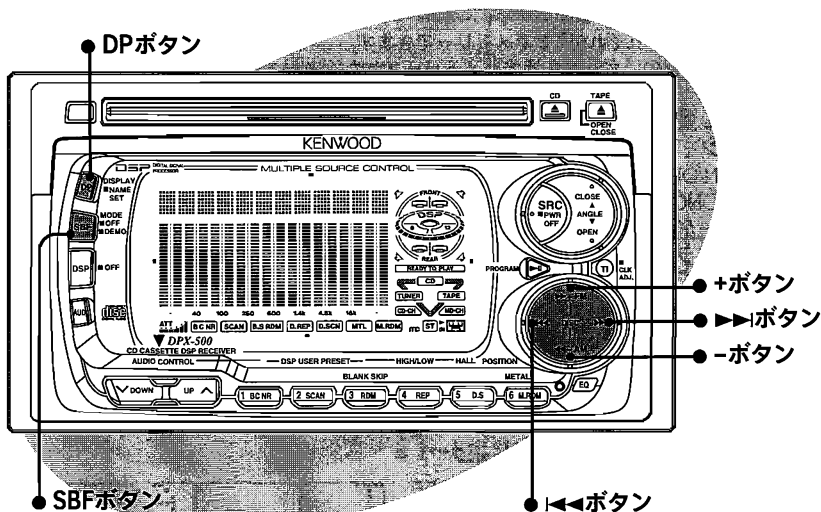
6

FMダイバシティ切り替え - FMダイバシティアンテナ対応に切り替える -

1. SRCボタンを1秒以上押しして電源をOFFします。
2. 2ボタンと5ボタンを押しながら、SRCボタンを押すと「FM DIVER ON」と表示されます。上記の操作を繰り返すごとにFMダイバシティがON/OFFします。

メモ

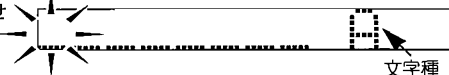
- 初期設定はOFFになっています。FMダイバシティ対応車の場合はこの機能をONに切り替えてください。
- FMダイバシティ未対応車でも市販のアンテナとダイバシティ変換プラグ (CA-930) を使用すれば、FMダイバシティの効果を得ることができます。くわしくはカタログをご覧ください。



7

SNPS (ステーションネームプリセット) —放送局に名前を付ける—

- 放送局名を付けたい周波数に合わせます。
- DPボタンを2秒以上押しと「NAME SET」と表示され、入力できる位置のカーソルが点滅します。
- >>>/<<<ボタンを押して文字を入力したいカーソルの位置を点滅させます。
- SBFボタンを押すごとに文字種が「*」(記号) ⇒ 「A」(英文字) ⇒ 「a」(英小字) ⇒ 「ア」(カタカナ) と表示されます。入力したい文字種を表示させます。



文字種

メモ

入力できる文字種の「*」(記号)は「0123456789/+-*=<>S」です。

5. **+/-**ボタンで文字を入力します。3～5の操作を繰り返して表示させたい放送局名を完成させます。

メモ

- +/- ボタンを押し続けると文字をスクロール表示させることができます。
- 入力できる文字数は8文字までです。
- 空白スペースは記号の「**—**」で入力できます。

6. **DP**ボタンを押すと放送局名が登録されます。

メモ

- 10秒間操作を行わないと入力したところまでの文字が自動的にメモリーされ、ステーションネームプリセットが解除されます。
- 登録できる放送局数はFM/AM合わせて30局までです。31局目のステーションネームプリセットを行うと、1局目のステーションネームプリセットした放送局名が自動的に消されます。
- 放送局名を変更したいときは1と2の操作をしたあと、以前の放送局名が表示されますので、3～6の操作を行えば変更することができます。
- ソフトウェアリセットボタンを押しても放送局名は保持されています。

注意

文字入力は複雑な操作です。走行中、運転者は操作しないでください。

8

SBF (セレクトバイファイル) — 放送局名で選局する—

1. **SBF**ボタンを押すとチューナーメモリーされている各バンドの放送局名、メモリーNo.を5秒間ずつ点滅表示します。

メモ

- 放送局名が登録されていない場合は周波数が表示されます。
- <>/<> ボタンを押すことで早送り/早戻し表示させることができます。
- FM/AM ボタンを押すとセレクトバイファイルするバンドをすぐに切り替えることができます。

2. 聴きたい放送局名、周波数が表示されているときに**SBF**ボタンを押すと受信が始まります。

メモ

途中を解除するときにはSBFボタンを1秒以上押しします。

9

表示モード切り替え — 表示を切り替える—

- DP**ボタンを押すごとに下記の順に表示します。

時計表示中

▶ 周波数表示 ▶ SNPS (放送局名) 表示 ▶ 時計表示

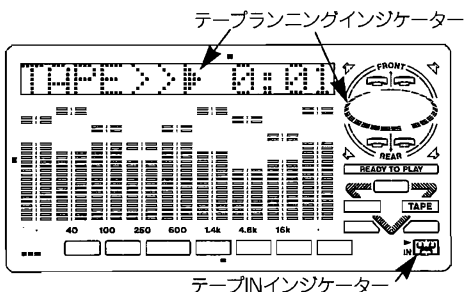
メモ

ステーションネームプリセットされていないときに放送局名表示をすると、「[NO NAME]」と表示されます。

2 テーププレイ/リバースプレイ - テープを演奏する -

テープの見える面を右側にしてカセットを入れるとテープINインジケータが点灯し、テーププレイが始まります。カセットテープが中に入っているときは**SRC**ボタンで「TAPE」を選択するとテーププレイが始まります。

テーププレイ中に**▶▶**ボタンを押すと「REVERSE」と表示され、リバースプレイになります。



メモ

- テープ走行状態はテープランニングインジケータでお知らせします。
- リバースプレイ時のテープカウンター表示は0:00になります。

3 イジェクト - カセットテープを取り出す -

TAPEボタンを押すと、フロントパネルがスライドしてテープ挿入口からテープがイジェクトされます。

4 早送り/巻き戻し

▶▶ボタンを押すと早送りが始まります。
◀◀ボタンを押すと巻き戻しが始まります。
 途中で解除するときは**▶▶**ボタンを押します。

5 DPSS (ダイレクトプログラムサーチシステム) - 飛び越し選曲する -

● **先の曲の頭出しをする**
▶▶ボタンを押すごとに飛び越す曲数が表示され、指定した曲の先頭まで早送りし、自動的に演奏が始まります。最高9曲まで飛び越し選曲できます。途中で解除するときは**▶▶**ボタンを押します。

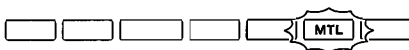


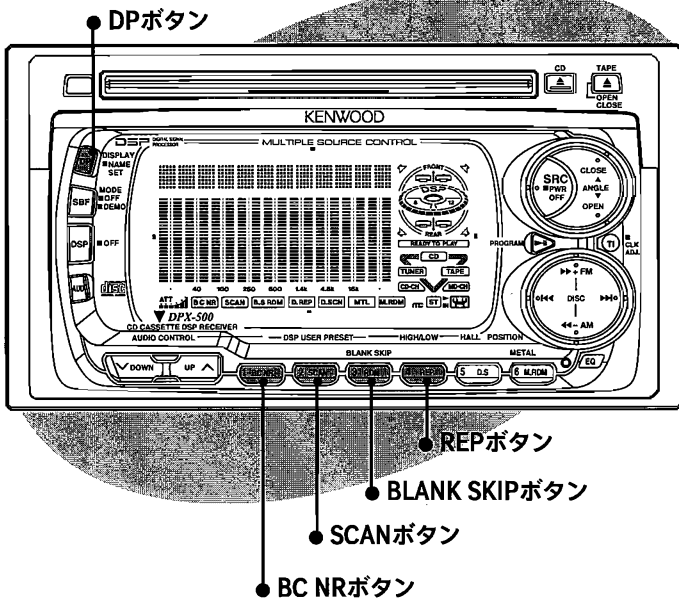
● **手前の曲の頭出しをする**
◀◀ボタンを押すと現在の曲の先頭へ、押すごとに飛び越す曲数が表示され、指定した曲の先頭まで巻き戻り、自動的に演奏が始まります。最高9曲まで飛び越し選曲できます。途中で解除するときは**▶▶**ボタンを押します。



6 テープセレクター - メタル/クロームテープを聴く -

METALボタンを押すごとにテープセレクターがメタル (TYPE IV) / クローム (TYPE II) ⇒ ノーマル (TYPE I) の順に切り替わります。メタル/クロームテープを聴くときは**METAL**ボタンを押すと**MTL**インジケータが点灯します。





7

ドルビー-B/C NRシステム —ドルビー-B/C NRを使って録音されたテープを聴く—
ドルビー-B/C NRボタンを押すごとに下記の順に表示され切り替わります。

▶ B NR ON ▶ C NR ON ▶ NR OFF



ドルビー-B NR

ON中は切り替えたドルビー NRシステムインジケータが点灯します。ドルビー NRで録音したテープを再生するときはドルビー-NRシステムのタイプに合わせて切り替えます。



ドルビー-C NR

ドルビーノイズリダクションはドルビーラボラトリーズライセンシングコーポレーションからの実施権に基づき製造されています。ドルビー、DOLBY及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズライセンシングコーポレーションの登録商標です。

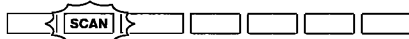
8 リピートプレイ - 同じ曲を繰り返し聴く -

REPボタンを押すごとにリピートプレイがON/OFFします。ONにすると「REPEAT」と表示され、REPインジケータが点灯します。現在聴いている曲を繰り返し演奏します。



9 インデックススキャンプレイ - 聴きたい曲を探す -

SCANボタンを押すごとにインデックススキャンプレイがON/OFFします。ONにすると「I-SCAN」と表示され、SCANインジケータが点灯します。曲の先頭部分を約10秒間演奏すると、次の曲の先頭までサーチして各曲の先頭部分を約10秒間ずつ演奏します。

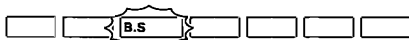


メモ

DPSS: リピート、インデックススキャンは曲間の何も録音されていない無録音部分を検出して行います。そのため曲間の無録音部分が4秒未満のテープや曲の途中で非常に小さい音が4秒以上続くテープでは曲間を検出できなかり、曲の途中で「先頭」と判断することがあります。

10 ブランクスキップ - 無録音部分をスキップする -

BLANK SKIPボタンを押すごとにブランクスキップがON/OFFします。ONにすると「B-SKIP ON」と表示され、B.Sインジケータが点灯します。10秒以上無録音部分があると自動的に次の曲まで早送りされます。



メモ

- 初期設定はブランクスキップ機能はONになっています。
- 無録音部分の雑音が非常に大きいと早送りされないことがあります。また、クラシック音楽など録音レベルが非常に小さい部分が曲の途中で10秒以上続くとき、ブランクスキップすることがあります。この場合はブランクスキップをOFFにしてください。

11 表示モード切り替え - 表示を切り替える -

DPボタンを押すごとに下記の順に表示します。



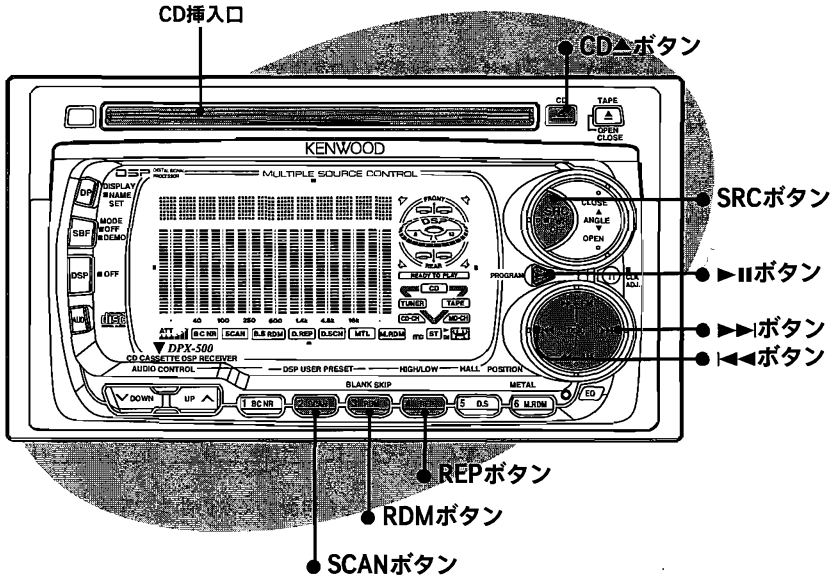
時計表示中

▶ テープカウンター／走行表示 ▶ 時計表示

CD MODE

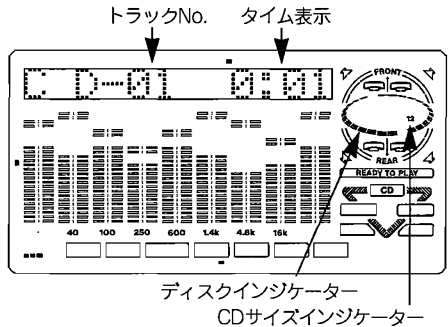
26

CD MODE



CDプレイ/ポーズ - CDを聴く -

CDのラベル面を上にしてCDを差し込むとトラックNo.とタイムが表示され、CDの演奏が始まります。CDが中に入っているときはSRCボタンで「CD」を選択するとCDの演奏が始まります。CD演奏中に▶▶ボタンを押すとタイム表示が点滅して、演奏が一時停止になります。再度▶▶ボタンを押すとCDの演奏が始まります。



メモ

CDの演奏状態をDISCインジケーターでお知らせします。また、演奏しているCDのサイズをCDサイズインジケーターで確認できます。



- 8cmCDはアダプターを使用せずそのまま差し込んでください。12cmCDと同じようにそのまま演奏できます。
- 8cmCD用のアダプターを使用すると誤動作や故障の原因になります。

- ② **イジェクト - CDを取り出す -**
CD△ボタンを押すとCDが出てきます。

メモ

CDが引き込まれてからすぐイジェクトすると、再度CDを押しても引き込まれないときがあります。このようなときは一旦CDを抜いて、もう一度入れ直してください。

- ③ **トラックサーチ - 聴きたい曲を選ぶ -**
● **先の曲の頭出しをする**

▶▶ ボタンを押すごとに先の曲へトラックサーチします。

▶▶ ボタンを押し続けると聴いている曲を早送りします。

- **手前の曲の頭出しをする**

◀◀ ボタンを押すと現在聴いている曲の先頭へ、押すごとに手前の曲へトラックサーチします。

◀◀ ボタンを押し続けると聴いている曲を早戻しします。

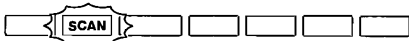
- ④ **トラックリピートプレイ - 同じ曲を繰り返し聴く -**
REPボタンを押すごとにトラックリピートプレイがON/OFFします。ONにすると



「TRACK REPEAT」と表示されます。リ

ピート演奏中はREPインジケータが点灯し、トラックNo.が点滅します。聴いている曲を繰り返し演奏します。

- ⑤ **トラックスキャンプレイ - 聴きたい曲を探す -**
SCANボタンを押すごとにトラックスキャンプレイがON/OFFします。ONにすると

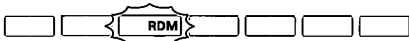


「TRACK SCAN」と表示されます。スキ

ャンプレイ中はSCANインジケータが点灯し、トラックNo.が点滅します。聴いているディスクの各曲の先頭部分を10秒間ずつ演奏します。すべての曲をスキャンすると自動的にスキャンプレイがOFFになります。

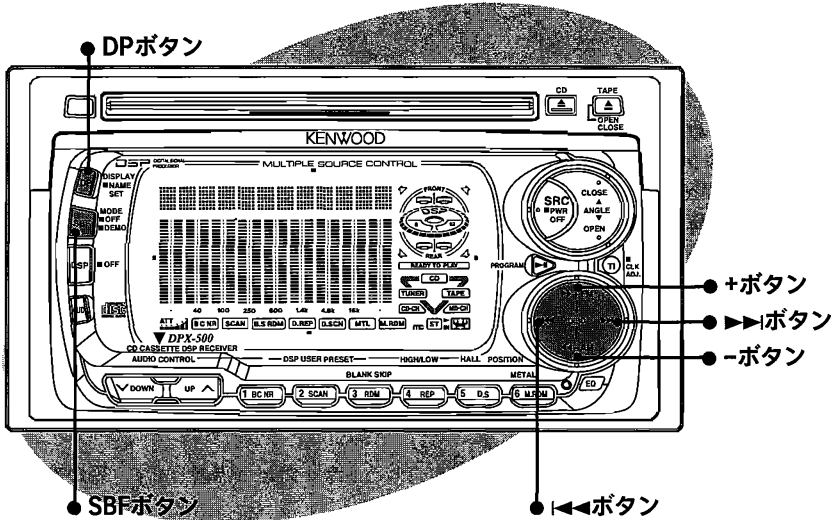
- ⑥ **ランダムプレイ - 聴いているディスクから自動的に曲を選ばせて演奏する -**
RDMボタンを押すごとにランダムプレイ

がON/OFFします。ONにすると



「RANDOM」と表示されます。ランダム

プレイ中はRDMインジケータが点灯し、トラックNo.が点滅します。自動的に曲を選んで演奏します。▶▶ ボタンを押すと次の曲を自動的に選んで演奏します。



表示モード切り替え - 演奏時間表示を切り替える-

DPボタンを押すごとに下記の順に表示します。

▶トラック演奏時間 (P-TIME) 表示 ▶ CDトータル演奏時間 (A-TIME) 表示 ▶ DNPS (ディスクネーム) 表示
時計表示

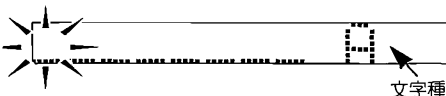
AM 10: 20

時計表示中

8

DNPS (ディスクネームプリセット) - ディスクに名前を付ける-

1. 名前を付けたいCDを演奏します。
2. DPボタンを2秒以上押しと「NAME SET」と表示され、入力できる位置のカーソルが点滅します。
3. ▶▶/◀◀ボタンを押して文字を入力したいカーソルの位置を点滅させます。
4. SBFボタンを押すごとに文字種が「*」(記号)⇒「A」(英文字)⇒「a」(英小字)⇒「ア」(カタカナ)と表示されます。入力したい文字種を表示させます。

**メモ**

入力できる文字種の「*」(記号)は、(0123456789/+-*=<>@)です。

5. +/-ボタンで文字を入力します。3～5の操作を繰り返して表示させたいディスク名を完成させます。

メモ

- +/-ボタンを押し続けると文字をスクロール表示させることができます。
- 入力できる文字数は8文字までです。
- 空白スペースは記号の「_」で入力できます。

6. DPボタンを押すとディスク名が登録されます。

HIT SONG

メモ

- 10秒間操作を行わないと入力したところまでの文字が自動的にメモリーされ、ディスクネームプリセットが解除されます。
- 登録できるディスク名は、ディスクチェンジャーモードのディスクネームプリセットと合わせて50枚までです。51枚目のディスクネームプリセットを行うと、1枚目にディスクネームプリセットしたディスク名が自動的に消されます。
- ディスク名を変更したいときは1と2の操作をしたあと、以前のディスク名が表示されますので3～6の操作を行えば変更することができます。
- システムリセットボタンを押してもディスク名は保持されています。
- ディスクの識別は総録音時間とトラック数で判断しています。総録音時間もトラック数も同じディスクがあった場合は識別ができなくなります。

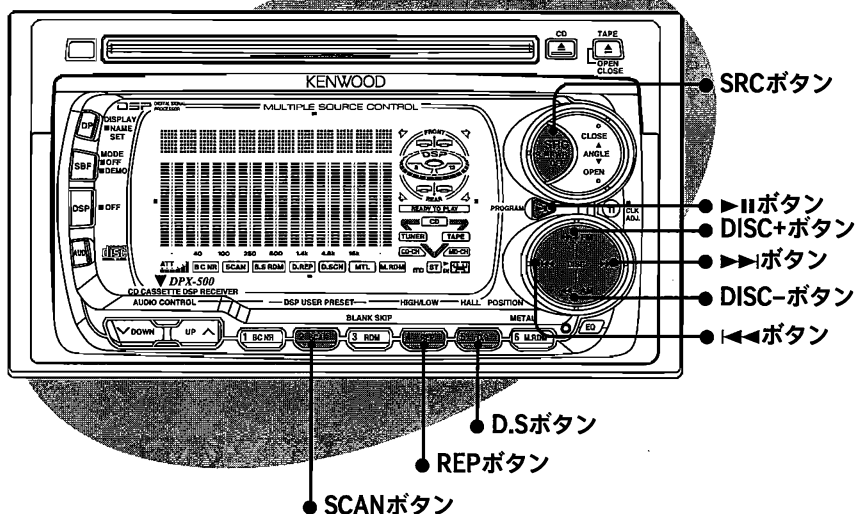
注意

文字入力は複雑な操作です。走行中、運転者は操作しないでください。

DISC CHANGER MODE

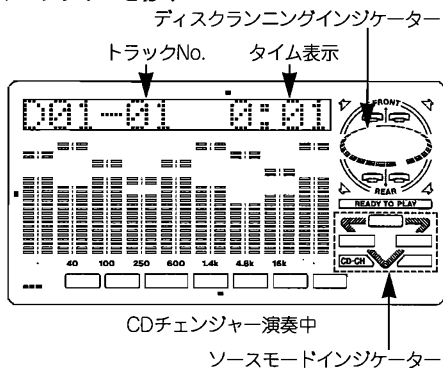
30

DISC CHANGER MODE



1 ディスクプレイ/ポーズ - ディスクチェンジャーを聴く -

ディスクチェンジャーが接続されているときに、**SRCボタン**で「DISC-CH」を選択するとディスク/トラックNo.とタイムが表示され、ディスクの演奏が始まります。ディスク演奏中に**IIボタン**を押すとタイム表示が点滅して、演奏が一時停止になります。再度**IIボタン**を押すとディスクの演奏が始まります。



メモ

- ディスクの演奏状態をディスクランニングインジケータでお知らせします。
- ソースモードインジケータは、CDチェンジャーを演奏しているときCD-CH、MDチェンジャーを演奏しているときはMD-CHが点灯します。

2 **ディスクチェンジャー切り替え** - 2台のディスクチェンジャーを切り替える-
 ディスクチェンジャーを2台接続しているときは、SRCボタンで「DISC-CH1」または「DISC-CH2」を選択します。

メモ
 ディスクチェンジャーを2台接続する場合は別売のCD/MDチェンジャースイッチングユニット「KCA-S200」が必要になります。

3 **トラックサーチ** - 聴きたい曲を選ぶ-
 ● **先の曲の頭出しをする**
 ▶▶ ボタンを押すごとに先の曲へトラックサーチします。
 ▶▶ ボタンを押し続けると聴いている曲を早送りします。
 ● **手前の曲の頭出しをする**
 ◀◀ ボタンを押すと現在聴いている曲の先頭へ、押しごとに手前の曲へトラックサーチします。
 ◀◀ ボタンを押し続けると聴いている曲を早戻しします。

4 **ディスクサーチ** - 聴きたいディスクを選ぶ-
 ● **先のディスクを選ぶ**
 DISC+ボタンを押すごとに先のディスクへサーチします。
 ● **手前のディスクを選ぶ**
 DISC-ボタンを押すごとに手前のディスクへサーチします。

5 **トラック/ディスクリピートプレイ** - 同じ曲やディスクを繰り返し聴く-
 REPボタンを押すごとにリピートプレイモードが下記の順に表示され切り替わります。
 ▶「TRACK REPEAT」▶「DISC REPEAT」▶ オフ

トラックリピート演奏中はREPインジケータが点灯し、トラックNo.が点滅します。聴いている曲を繰り返し演奏します。ディスクリピート演奏中はD.REPインジケータが点灯し、ディスクNo.が点滅します。聴いているディスクを繰り返し演奏します。

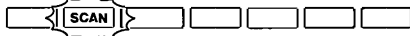


トラックリピート



ディスクリピート

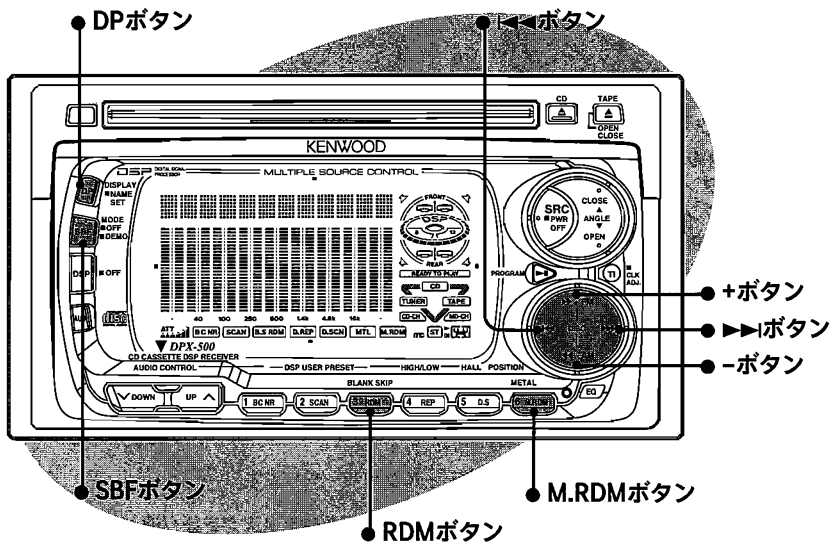
6 **トラックスキャンプレイ** - 聴きたい曲を探す-
 SCANボタンを押すごとにトラックスキャンプレイがON/OFFします。ONにすると「TRACK SCAN」と表示されます。スキャンプレイ中はSCANインジケータが点灯し、トラックNo.が点滅します。聴いているディスクの各曲の先頭部分を10秒間ずつ演奏します。すべての曲をスキャンすると自動的にスキャンプレイがOFFになります。



7 **ディスクスキャンプレイ** - 聴きたいディスクを探す-
 D.Sボタンを押すごとにディスクスキャンプレイがON/OFFします。ONにすると「DISC SCAN」と表示されます。ディスクスキャンプレイ中はD.SCNインジケータが点灯し、ディスクNo.が点滅します。聴いているディスクの先頭部分を10秒間ずつ演奏します。すべてのディスクをスキャンプレイすると自動的にディスクスキャンプレイがOFFになります。



DISC CHANGER MODE

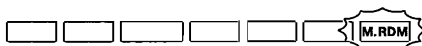


- 8** **トラックランダムプレイ** — 聴いているディスクから自動的に曲を選ばせて演奏する—
 RDMボタンを押すごとにランダムプレイがON/OFFします。ONにすると「RANDOM」と表示されます。ランダムプレイ中はRDMインジケータが点灯し、トラックNo.が点滅します。自動的に曲を選んで演奏します。



▶▶ボタンを押すと次の曲を自動的に選んで演奏します。

- 9** **マガジンランダムプレイ** — マガジンから自動的に曲を選ばせて演奏する—
 M.RDMボタンを押すごとにマガジンランダムプレイがON/OFFします。ONにすると「M-RANDOM」と表示されます。ランダムプレイ中はRDMインジケータが点灯し、ディスク/トラックNo.が点滅します。自動的に曲を選んで演奏します。



▶▶ボタンを押すと次の曲を自動的に選んで演奏します。



表示モード切り替え - 演奏時間表示を切り替える-

DPボタンを押すごとに下記の順に表示します。

▶トラック演奏時間(P-TIME)表示 ▶CDトータル演奏時間(A-TIME)表示 ▶DNPS(ディスクネーム)表示 ▶時計表示

MDチェンジャーの場合は下記の順に切り替わります。

▶トラック演奏時間表示 ▶DNPS(ディスクネーム)表示 ▶ディスクタイトル表示 ▶トラックタイトル表示 ▶時計表示



時計表示中

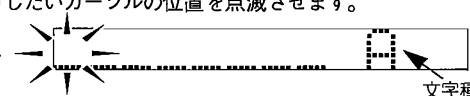
メモ

- ディスクネームセレクトしていないディスクは「[NO NAME]」と表示されます。
- MDにディスクタイトル/トラックタイトルが記録されていない場合も「[NO NAME]」と表示されます。
- MD66ではMDソフトに記録されているカタ文字は表記できません。



DNPS (ディスクネームプリセット) - ディスクに名前を付ける-

1. 名前を付けたいディスクを演奏します。
2. DPボタンを2秒以上押すと「NAME SET」と表示され、入力できる位置のカーソルが点滅します。
3. ▶▶/◀◀ボタンを押して文字を入力したいカーソルの位置を点滅させます。
4. SBFボタンを押すごとに文字種が「*」(記号) ⇒ 「A」(英文字) ⇒ 「a」(英小字) ⇒ 「ア」(カタカナ) と表示されます。入力したい文字種を表示させます。



メモ

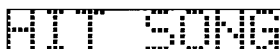
入力できる文字種の「*」(記号)は (_ 0123456789 / + - * = < > &) です。

5. + / - ボタンで文字を入力します。3 ~ 5 の操作を繰り返して表示させたいディスク名を完成させます。

メモ

- + / - ボタンを押し続けると文字をスクロール表示させることができます。
- 入力できる文字数は8文字までです。
- 空白スペースは記号の「_」で入力できます。

6. DPボタンを押すとディスク名が登録されます。



メモ

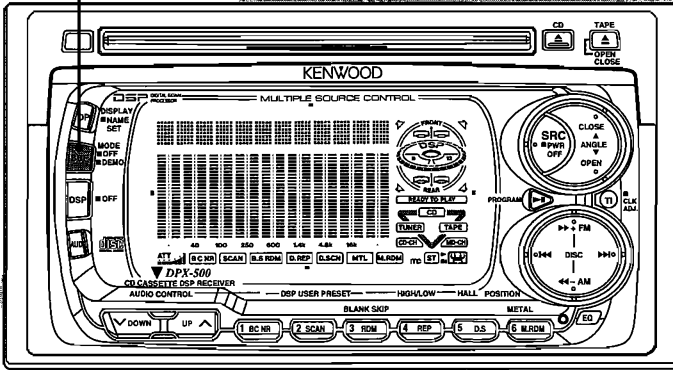
- 10秒間操作を行わないと入力したところまでの文字が自動的にメモリーされ、ディスクネームプリセットが解除されます。
- 登録できるディスク名は、CDモードのディスクネームプリセットと合わせて50枚までです。51枚目のディスクネームプリセットを行うと、1枚目にディスクネームプリセットしたディスク名が自動的に消されます。
- ディスク名を変更したいときは1と2の操作をしたあと、以前のディスク名が表示されますので、3~6の操作を行えば変更することができます。
- システムリセットボタンを押してもディスク名は保持されています。
- ディスクの識別は総録音時間とトラック数で判断しています。総録音時間もトラック数も同じディスクがあった場合は識別ができなくなります。

注意 文字入力は複雑な操作です。走行中、運転者は操作しないでください。

DISC CHANGER MODE

DISC CHANGER MODE

SBFボタン



12

SBF (セレクトバイファイル) - ディスク名/ディスクタイトルで選曲する**●CDチェンジャーを聴いているとき**

1. SBFボタンを押すと「SBF DNPS」と表示され、CDチェンジャーのマガジン入っているディスク名とディスクナンバーを5秒間ずつ点滅表示します。
2. 聴きたいディスク名が表示されているときにSBFボタンを押すと、ディスクの演奏が始まります。

●MDチェンジャーを聴いているとき

1. SBFボタンを押すごとに「SBF DNPS」⇔「SBF DISC」と表示されます。
2. ディスクネームで検索するときは「SBF DNPS」を表示した後、ディスク名とディスクNo.を5秒間ずつ表示します。
ディスクタイトルで検索するときは「SBF DISC」を表示した後、ディスクタイトルとディスクNo.を5秒間ずつ表示します。
3. 聴きたいディスク名、ディスクタイトルを表示しているときにSBFボタンを押すと、ディスクの演奏が始まります。

HIT SONG-01

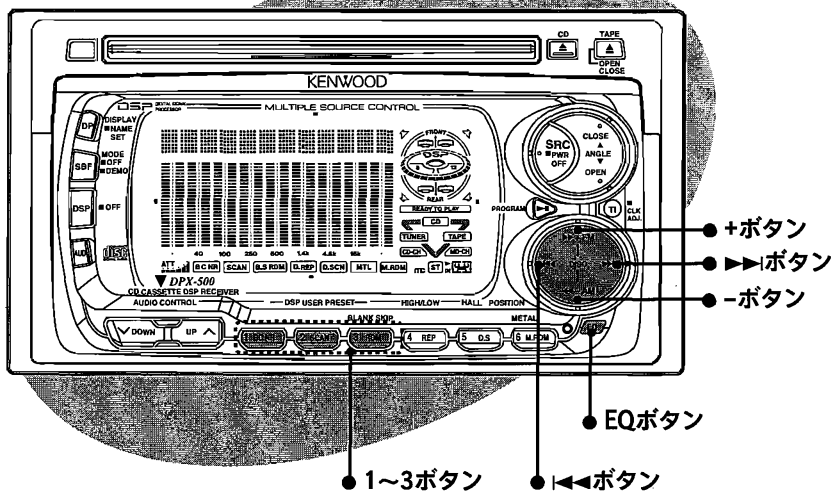
メモ

- 途中で解除するときにはSBFボタンを1秒以上押し続けます。
- ディスクチェンジャーにマガジンを入れたICから一度も検索していないディスクは「[NOACCESS]」と表示されます。
- ディスク名、ディスクタイトルがプリセットされていないディスクは「[NO NAME]」と表示されます。
また、DISCボタンを押すごとに早送り表示、DISCボタンを押すごとに早戻し表示ができます。

EQUALIZER MODE

36

EQUALIZER MODE



イコライザー-ON -イコライザー調整モードにする-

EQボタンを押すと「EQ CTRL」と表示されます。またイコライザー調整モード中、EQボタンを押すごとに下記の順にオリジナルイコライザーとカーブが切り替わります。

- ▼
FLAT (イコライザー効果を効かせずに自然な音の状態にします)
- ▼
POPS (インストゥルメンタル、ボーカルにメリハリのある音質になります)
- ▼
LOUD (高音/低音を強調したメリハリのある音質になります)
- ▼
VOCAL (人間の声の領域を中心に強調します)
- ▼
CLASSIC (ピラミッド的に構成されたオーケストラの再生などに最適です)
- ▼
ARENA (大きなコンサート会場の音響特性を再現します)

メモ

ソース別イコライザーメモリー

各ソース(CDプレイ中、テーププレイ中など)ごとに設定したイコライザーカーブは自動的にメモリーしているの、ソースを切り替えたときに再設定しなくても各ソースにあった音質、音響が得られます。

2

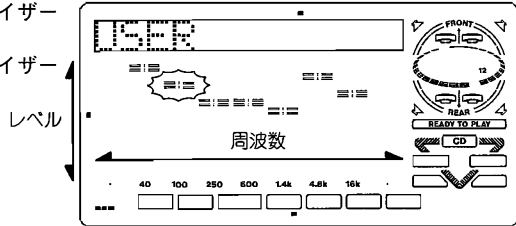
イコライザーOFF - イコライザー調整モードを終了する-

EQボタンを1秒以上押すとイコライザー調整モードがOFFになります。また、10秒間操作を行わないとイコライザー調整モードは自動的に解除されます。

3

イコライザー調整/メモリー - 曲や車室に合わせて音質を調整し、メモリーする-

1. EQボタンを押してイコライザー調整モードに切り替えます。
2. ◀▶ボタンを押すごとに調整中心周波数が低いほうに移動します。
▶▶ボタンを押すごとに調整中心周波数が高いほうに移動します。
3. +ボタンを押すたびにイコライザーレベルが大きくなります。
-ボタンを押すたびにイコライザーレベルが小さくなります。

**メモ**

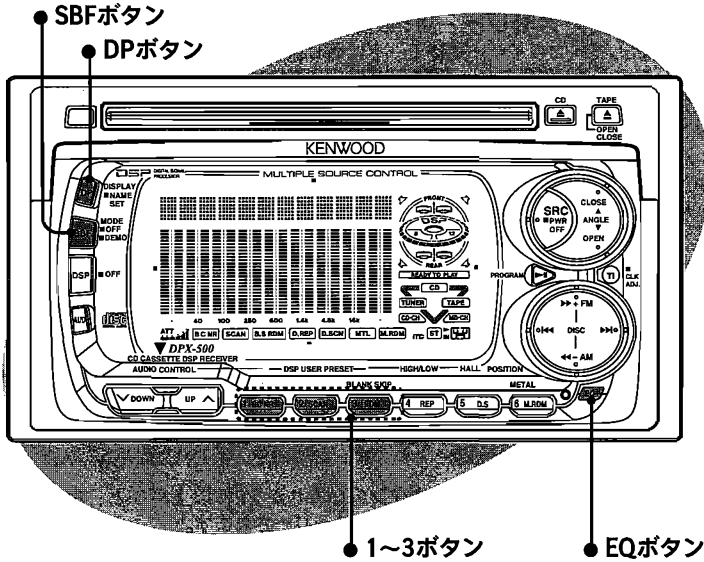
イコライザーレベルを上げすぎると音が歪むことがあります。その場合は、イコライザーレベルを音が歪まなくなるまで下げてください。

4. イコライザー調整モード中、1～3ボタンのいずれかを2秒以上押すと、押したボタンに現在設定されているイコライザーカーブがメモリーされます。

メモ

EQボタンを1秒以上押すか、10秒間操作を行わないとイコライザー調整モードは解除されます。

EQUALIZER MODE



4

イコライザーメモリーの呼び出し - 調整したイコライザーを呼び出す -

1. EQボタンを押してイコライザー調整モードに切り替えます。
2. 1~3ボタンのいずれかを押し、メモリーされたイコライザーカーブを呼び出します。

メモ

呼び出したイコライザーメモリーNo.の設定を他ソースでも使用したいときは、一旦他のメモリーNo.を呼び出してから行ってください。

5

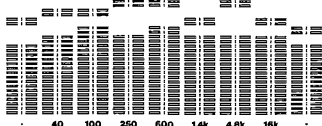
スペクトラムアナライザー表示切り替え

—表示を切り替えて、サウンドを目で楽しむ—

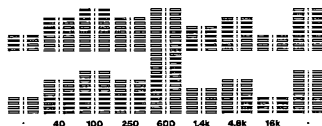
1. EQボタンを押してイコライザー調整モードに切り替えます。
2. DPボタンを押すごとにスペアナ表示が下記のように切り替わります。

▶ ANA MODE 1～ANA MODE 9 ▶ EQ CURVE

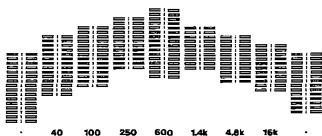
① ピークホールドスペアナ



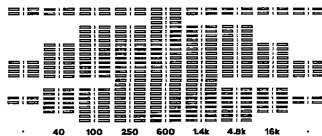
⑥ セミツインスペアナ



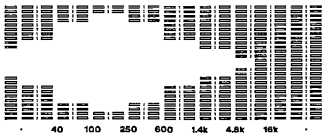
② オーロラ



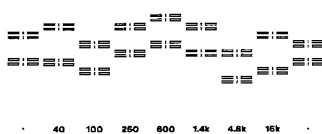
⑦ ヒープアップスペアナ



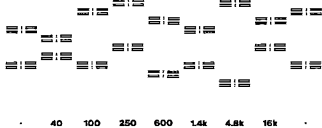
③ マウス



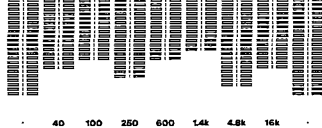
⑧ ツインピークスペアナ



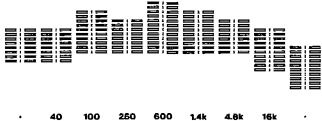
④ スターダスト



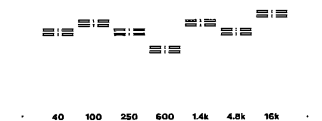
⑨ リバーススペアナ



⑤ ハーフリバーススペアナ



⑩ イコライザーカーブ



6

デモンストレーション —スペアナ表示を自動で切り替える—

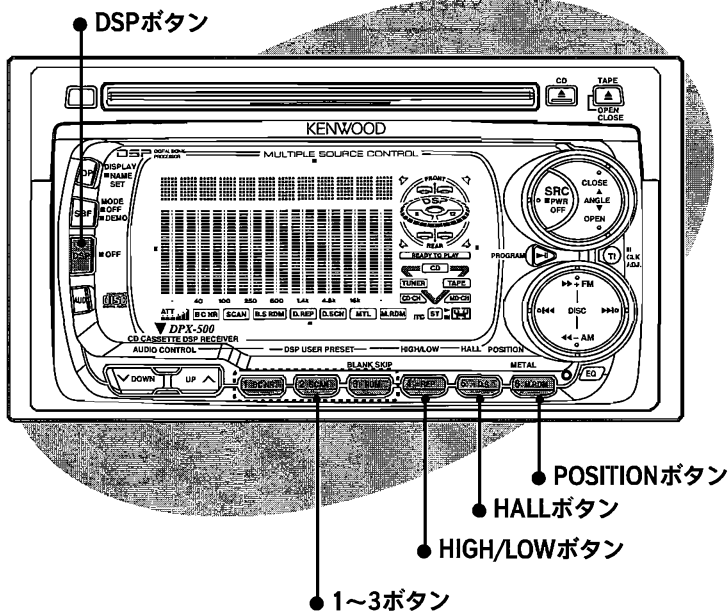
SBFボタンを1秒以上押すと「ANA DEMO」と表示され、スペアナ表示のデモンストレーションが始まります。また、デモンストレーション中に何かのボタンを操作すると、デモンストレーションを終了します。

ANA DEMO

DSP MODE

40

DSP MODE

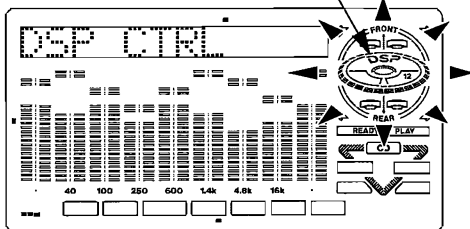


①

DSP ON - DSPモードにする-

DSPボタンを押すとDSPインジケータが点灯し、DSPがONになります。DSPインジケータが点灯中にDSPボタンを押すと下記の順に切り替わります。DSP調整モード中はDSPインジケータが点滅しています。

DSPインジケータ



▶ DSP調整モードON ▶ DSP調整モードOFF

メモ

10秒間操作を行わないとDSP調整モードは自動的に解除され、DSPインジケータが点滅から点灯に変わります。

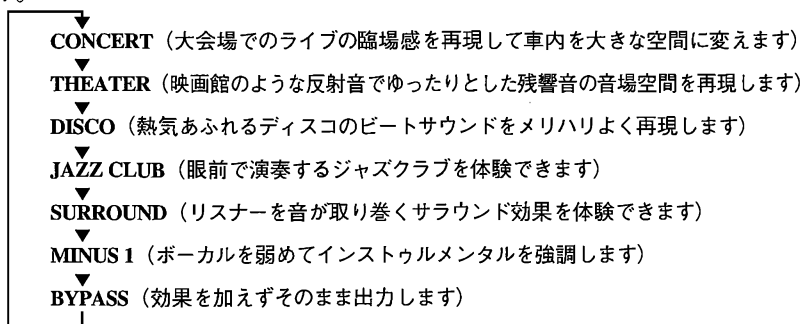
②

DSP OFF - DSPモードを解除する-

DSPボタンを1秒以上押すとDSPインジケータが消え、DSPがOFFになります。

3

ホールシミュレーション切り替え - 設定されているホールシミュレーションを呼び出す—
DSP調整モード中 (DSPインジケータが点滅中) に**HALL**ボタンを押すと、現在のホールシミュレーションが表示され、押すごとにホールシミュレーションが下記の順で切り替わります。



ソース別DSPメモリー

各ソース (CDプレイ中、テーププレイ中など) ごとに設定したDSP (ホールシミュレーションモード、ホールエフェクトレベル、ポジション) は自動的にメモリーしているの、ソースを切り替えたときに再設定しなくても各ソースにあった音質、音響が得られます。

4

エフェクトレベル切り替え - 好みの音場効果に切り替える—

DSP調整モード中 (DSPインジケータが点滅中)、**HIGH/LOW**ボタンを押すごとにエフェクトレベルが下記の順に切り替わります。

▶ **NORMAL** (通常レベル) ▶ **HIGH** (エフェクトレベル大) ▶ **LOW** (エフェクトレベル小)

メモ

- 初期設定は**NORMAL**になっています。
- ホールシミュレーションが**MINUS 1**、**BYPASS**のときは、エフェクトレベルは切り替わりません。

5

ポジション切り替え - 聴く位置に合わせてDSP設定する—

DSP調整モード中 (DSPインジケータが点滅中)、**POSITION**ボタンを押すと音場の中心ポジションが下記の順に切り替わります。



6

DSPメモリー - 自分オリジナルのDSP設定をメモリーする—

DSP調整モード中 (DSPインジケータが点滅中) に**1~3**ボタンを2秒以上押すと、押したボタンに現在設定されているホールシミュレーションモード、ホールエフェクトレベル、ポジションがメモリーされます。

7

DSPメモリーの呼び出し - 自分で設定したDSP設定を呼び出す—

DSP調整モード中 (DSPインジケータが点滅中) に**1~3**ボタンのいずれかを押すと、押したボタンにメモリーされたDSP設定が呼び出されます。

メモ

呼び出したDSPメモリーNo.の設定を他ソースでも使用したいときは一旦、他のメモリーNo.を呼び出してから行ってください。

REMOTE CONTROL MODE

42

REMOTE CONTROL MODE

■ ALL MODE

TUNERボタン
 押すごとにラジオがON/OFFします。

TAPEボタン
 テープが入っているときに押すとテーププレイが始まります。

CDボタン
 押すとCDプレイが始まります。

CD・MD CHボタン
 押すとディスクチェンジャープレイが始まります。2台接続されているときは、押すごとにディスクチェンジャー1と2に切り替わります。

OPEN/CLOSEボタン
 押すとパネルがOPEN/CLOSEします。

VOL.ボタン
 へ/∨ボタンで音量調整できます。

ATTボタン
 押すごとにアッテネーターがON/OFFします。

■ TUNER MODE

ナンバーボタン
 1～6はメモリーした放送局を呼び出します。ダイレクトチューニング時は、周波数の入力ができます。

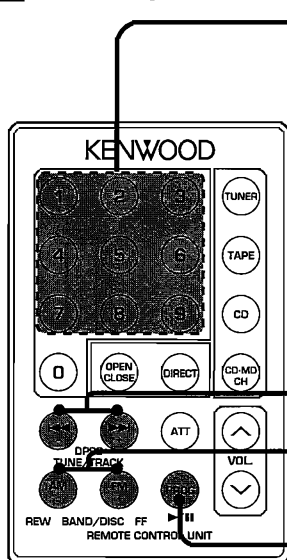
DIRECTボタン
 押すごとにダイレクトチューニングモードのON/OFFができます。周波数表示が点滅(10秒間)中にナンバーボタンで聴きたい放送局の周波数を入力します。
 例・ FM82.5MHz
 押すナンバーボタン・・・⑧②⑤
 AM1134kHz
 押すナンバーボタン・・・①①③④

◀▶ボタン
 ◀▶ボタンを押すと受信周波数が下がります。
 ▶▶ボタンを押すと受信周波数が上がります。

FMボタン
 押すごとにFM1、FM2バンドに切り替わります。

AMボタン
 押すごとにAM1、AM2バンドに切り替わります。

■ TAPE MODE



● ナンバーボタン

飛び越したい曲数を入力します。No.表示が点滅(10秒間)中に

◀◀ボタンを押すと入力した曲数分を巻き戻し、テーププレイが始まります。

▶▶ボタンを押すと入力した曲数分を早送りし、テーププレイが始まります。

● ◀◀/▶▶ボタン

◀◀ボタンは現在の曲の先頭や手前の曲へDPSSします。

▶▶ボタンは先の曲へDPSSします。

● AM/FMボタン

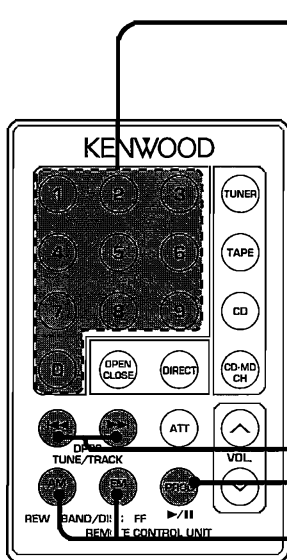
AMボタンを押すと巻き戻しが始まります。

FMボタンを押すと早送りが始まります。

● PROGボタン

押すとリバースプレイになります。巻き戻し、早送り、DPSS中に押すとテーププレイに戻ります。

■ CD/DISC CHANGER MODE



● ナンバーボタン

ダイレクトで演奏したいトラックまたはディスクNo.の入力ができます。

No.表示が点滅(10秒間)中に

◀◀/▶▶ボタンを押すとダイレクトトラックサーチします。

◀◀/▶▶ボタンを押すとダイレクトディスクサーチします。

● ◀◀/▶▶ボタン

◀◀ボタンを押すと聴いている曲の先頭へ、押しごとに手前の曲へとトラックサーチします。

▶▶ボタンは先の曲へとトラックサーチします。

● PROGボタン

ディスク演奏のプレイ/ポーズができます。

● AM/FMボタン

AMボタンは手前のディスクを演奏します。

FMボタンは次のディスクを演奏します。

接続のしかた

初めにエンジンキーが抜かれていることを確認後、ショート事故防止のため必ずバッテリーの⊖端子を外してください。

1. 各セットの入・出力コードを確かめて接続します。
2. 電源ハーネスのスピーカーコードを接続します。
3. 電源ハーネスをアースコード（黒）、バッテリー電源コード（黄）、アクセサリ電源コード（赤）の順に接続します。
4. 電源ハーネスのコネクターをDPX-500に接続します。
5. 取付終了後に、バッテリーの⊖端子を接続します。

ダイバシティアンテナの接続のしかた

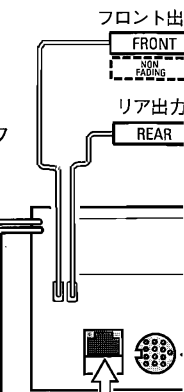
アンテナ入力（サブ）はダイバシティアンテナ車のみ接続します。また、アンテナ端子の形状が異なる場合は別売の変換コードが必要です。詳細はカタログをご覧ください。

車両アンテナ端子（サブ側）

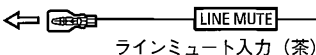
アンテナ入力（サブ）

車両アンテナ端子（メイン側）

アンテナ入力（メイン）

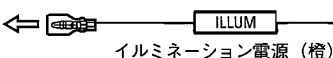


ラインミュート端子対応のナビゲーション機器との接続に使用します。



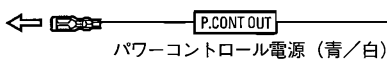
ラインミュート入力（茶）

本機にディマーをかけるための電源入力です。ライトスイッチでON/OFFできる電源へ接続してください。



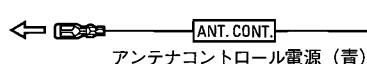
イルミネーション電源（橙）

別売のパワーアンプを接続する場合、パワーアンプのパワーコントロール端子へ接続してください。接続しない場合はキャップを付けたままにしてください。



パワーコントロール電源（青/白）

モーターアンテナのコントロール端子やガラスプリントアンテナのブースターアンプの電源端子へ接続してください。接続しない場合はキャップを付けたままにしてください。



アンテナコントロール電源（青）

エンジンキースイッチ

ラジオ専用電源

メインヒューズ

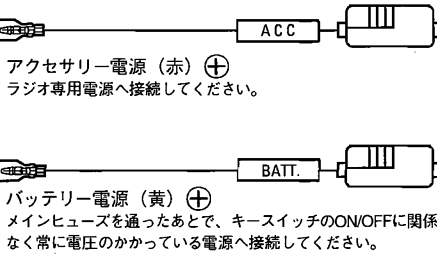
ヒューズ

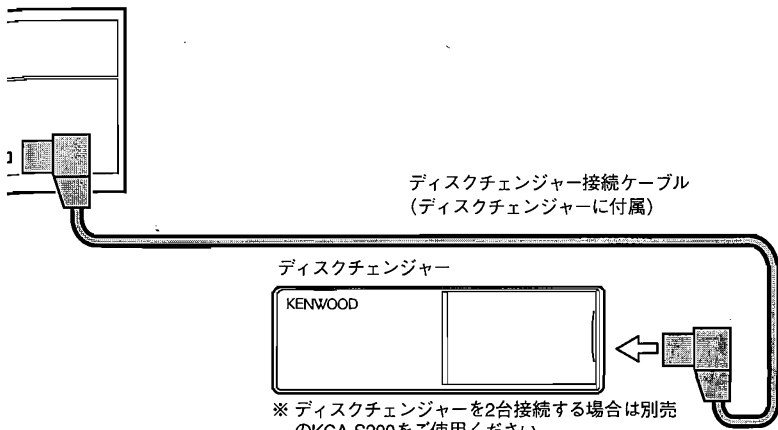
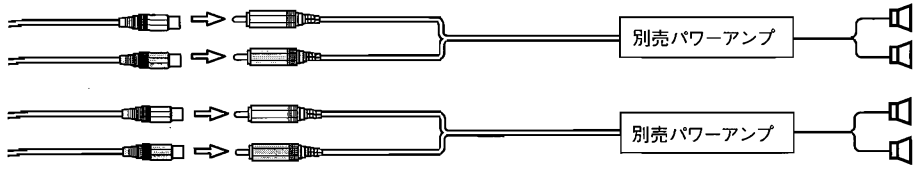
バッテリー電源

バッテリー

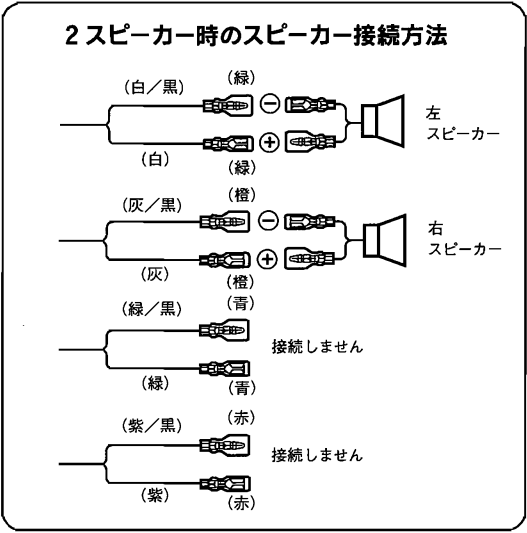
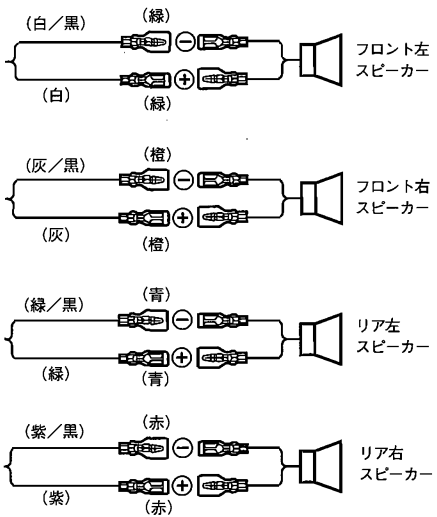
アース（黒）⊖

車の金属部分（バッテリーのマイナス側と導通しているシャーシなどの一部）へ接続してください。





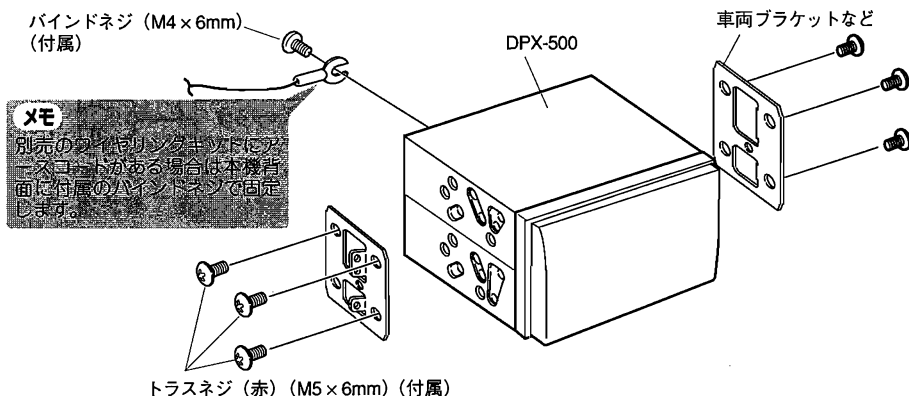
※ ディスクチェンジャーを2台接続する場合は別売のKCA-S200をご使用ください。
MD6、MD66、C705i、C705srを接続する場合はCA-KD20が必要です。



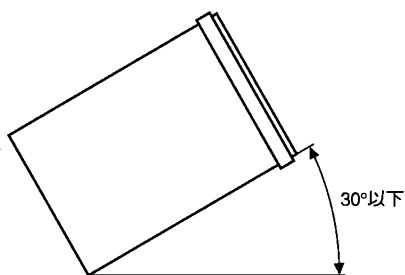
取り付けについて

- 付属のトラスネジ (赤) (M5 × 6mm) 6本を使用して車両ブラケットなどに取り付けます。

取り付けについて



- 別売のワイヤリングキットや取付キットを使用することにより、車にジャストフィットした取り付けができます。キットは取り付ける車種に応じて用意されています。詳しくはカタログをご覧ください。
- 本機の取付角度は30°以下になるように取り付けてください。30°以上の角度で取り付けると音飛びの原因になります。



故障かな?と思ったら

ちょっとした操作ミスや配線違いなどにより、故障と思われることがあります。修理を依頼される前に、下記の各項目についてチェックしてください。

故障かな?と思ったら

こんなとき	どうして	こうします
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> ヒューズが切れている。 入・出力/電源コードが間違っ て接続されている。 	<ul style="list-style-type: none"> コード類がショートしていないことを確認 後、所定容量のヒューズと交換してくだ さい。 "接続のしかた(⇨P.44)"を見て正しく接続 してください。
音が出ない/小さい	<ul style="list-style-type: none"> リモコンのアッテネーターが ONになっている。 音量が最小になっている。 フェダー、バランスが片側に片 寄った設定になっている。 スピーカーコードが間違っ て接続されている。 ラインミュート端子が間違っ て配線されている。 	<ul style="list-style-type: none"> アッテネーターを解除してください。 音量を適度に上げてください。 フェダー、バランスを調整してください。 "接続のしかた(⇨P.44)"を見て正しく接続 してください。 "接続のしかた(⇨P.44)"を見て正しく接続 してください。
操作スイッチを押しても動作 しない	マイコンが誤動作している。	リセットボタンを押してください。 ⇨P.17
テープが入らない	<ul style="list-style-type: none"> カセットハーフが変形している。 テープが逆向きになっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 他のカセットテープを使用してください。 テープが見える面を右にして入れてくだ さい。
チューナーの感度が悪い	<ul style="list-style-type: none"> 自動車のアンテナが伸びていな い。 アンテナコントロール電源が接 続されていない。 	<ul style="list-style-type: none"> アンテナを十分伸ばしてください。 "接続のしかた(⇨P.44)"をみてアンテナコ ントロール電源を接続してください。
CDが入らない	すでにCDが入っている。	すでに入っているCDを取り出してから入れ てください。
CDを入れてもすぐ出てきてし まう	<ul style="list-style-type: none"> CDが裏返しになっている。 CDが異常に汚れている。 結露している。 	<ul style="list-style-type: none"> ラベル面を上に入れて入れなおしてくだ さい。 "CDのお手入れ(⇨P.10)"を見てクリー ニングしてみてください。 しばらく、放置してから使用してくだ さい。⇨P.9
振動により音飛びが飛んでしま う	<ul style="list-style-type: none"> 取り付け角度が、30°を越えて いる。 取り付けが不安定になってい る。 CDに傷や汚れなどがついてい る。 	<ul style="list-style-type: none"> 30°以内の角度に調整してください。 しっかりと固定してください。 停車しても同じ部分で音飛びときは、 CDの問題です。"CDのお手入れ(⇨P.10)" を見てクリーニングしてみてください。
音質が悪い (再生中ノイズが出る)	<ul style="list-style-type: none"> CD自身の音質。 CDに傷や汚れなどがついてい る。 	<ul style="list-style-type: none"> 他のCDを再生して問題がなければCD自 身の音質です。 "CDのお手入れ(⇨P.10)"を見てクリー ニングしてみてください。

故障かな？と思ったら

48

故障かな？と思ったら

こんなとき ▼	どうして ▼	こうします ▼
選曲動作をしても目的の曲にならない。	ランダムプレイモードになっている。	ランダムプレイモードを解除してください。
音質が悪い（音が歪む）	<ul style="list-style-type: none"> ● 音量が大きすぎる。 ● ヘッドが汚れている。 ● スピーカーコードが車両側のネジにかみ込んでいる。 ● スピーカー配線が間違っている。 ● イコライザーモードのLOUDとDSPモードのDISCOが選択されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 適正音量で使用してください。 ● "ヘッドクリーニングについて(⇒P.9)"を見てヘッドクリーニングを行ってください。 ● スピーカー配線をチェックしてください。 ● スピーカー出力端子をそれぞれのスピーカー端子に接続してください。 ● 聴いているソースにより音が歪む場合があります。LOUDをOFFにしてください。
エンジンキーをOFFにすると、メモリー内容が消えてしまう。	バッテリー電源が所定の場所に接続されていない。	"接続のしかた (⇒P.44)"を見て正しく接続してください。
DSP効果が得られない	<ul style="list-style-type: none"> ● 2スピーカーシステムになっている。 ● フロント出力とリア出力が逆に接続されている。 ● スピーカーの右と左が逆に接続されている。 ● スピーカーの⊕と⊖が逆に接続されている。 ● フェダー、バランスの調整が片側に片寄っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ● フロント、リアの4スピーカーシステムにしてください。 ● "接続のしかた (⇒P.44)"を見て正しく接続してください。 ● "接続のしかた (⇒P.44)"を見て正しく接続してください。 ● "接続のしかた (⇒P.44)"を見て正しく接続してください。 ● フェダー、バランスをセンターに設定してください。

●ディスクチェンジャー（別売）を接続しているとき

こんなとき ▼	どうして ▼	こうします ▼
ディスクチェンジャーモードにならない	本機のチェンジャー入力が接続されていない。	本機のチェンジャー入力を接続してください。
操作スイッチを押しても動作しない	マイコンが誤動作している。	本機のリセットボタンを押してください。
ディスクの演奏が始まらない	電源がONになっていない。	SRCボタンを押してディスクチェンジャーモードにしてください。
指定したディスクが演奏されない	<ul style="list-style-type: none"> ● ディスクが異常に汚れている。 ● ディスクが裏返しになっている。 ● ディスクが2枚同じ場所に入っている。 ● ディスクの入れた場所と指定No.が違う。 ● ディスクに大きな傷がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ● ディスクのクリーニングをしてください。 ● マガジンをイジェクトしてディスクを正しく入れ直してください。 ● マガジンをイジェクトしてディスクを正しく入れ直してください。 ● マガジンをイジェクトして指定ディスクのNo.を確認してください。 ● 他のディスクを使用してください。
チェンジャー表示はするが音がでない	<ul style="list-style-type: none"> ● 音量が最小になっている。 ● リモコンのアッテネーターがONになっている。 ● マイコンが正常に動作していない。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 音量を適度に上げてください。 ● アッテネーターを解除してください。 ● 本機のリセットボタンを押してください。
選曲動作をしても目的の曲にならない	ランダムプレイ/マガジンランダムプレイモードになっている。	ランダムプレイ/マガジンランダムプレイモードを解除してください。

故障かな？と思ったら

●以下の表示でシステム状態をお知らせします。

EJECT : ディスクマガジンがセットされていない。
ディスクマガジンが完全に入っていない。
など

NO DISC : ディスクマガジンにディスクが1枚も入っていない。

NO CHANGER: 別売のKCA-S200のCH1またはCH2端子にディスクチェンジャーが接続されていない。

ERROR 04 : ディスクが異常に汚れている。
ディスクが裏返しになっている。
ディスクに傷が多く付いている。

ERROR 99 : 何らかの原因で正常に動作していない。
⇒ 本機のリセットボタンを押してください。"Error 99"表示が消えない場合、お近くのケンウッドサービス窓口へご相談ください。

HOLD : ディスクオートチェンジャーまたはCDプレーヤー部の内部温度が60℃以上になると保護回路が動き、動作しなくなることがあります。このときこの表示が出ます。
⇒ ディスクオートチェンジャーまたは本機の取り付け場所の温度を下げてから使用してください。

NO NAME : ステーションネームプリセットされていない放送局を受信中に、放送局名表示にしようとした。
ディスクネームプリセットされていないディスクを演奏中に、ディスク名表示にしようとした。
ディスクタイトルが記録されていないMDを演奏中に、ディスクタイトル表示にしようとした。

NO TRACK : 演奏しようとしたMDにデータが1つも記録されていない。
⇒ 次のMDを自動的に演奏します。

BLANK DISC : 演奏しようとしたMDに何も記録されていなかった。
⇒ 次のMDを自動的に演奏します。

●保証書

この商品の保証書は別途添付しております。

必ず所定事項の記入及び記入内容をご確認いただき大切に保存してください。

●保証期間

お買上げの日より**1年間**です。

正常なご使用状態でこの期間内に万一故障が生じた場合には、保証書の記載内容によりお買上げの販売店またはケンウッド各営業所が**無料修理**いたします。

●保証期間経過後の修理

お買上げの販売店またはケンウッド各営業所にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合にはお客様のご要望により**有料修理**いたします。

本機の当社規定**補修用性能部品**の**最低保有期間**は製造打切後**6年間**です。
(補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。)

●ディスクオートチェンジャーをお買上げのお客様へ

修理のためお買上げの販売店、またはケンウッド各営業所に本機をお持ちになるときは、本機およびディスクチェンジャーを一緒にお持ちください。

なおアフターサービスについて、ご不明な点はお買上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、各営業所にご遠慮なくご相談ください。

FMチューナー部

受信周波数範囲 (周波数ステップ)	76.0 MHz~90.0 MHz (100 kHz)
実用感度 (S/N:30 dB)	9.3 dBf (0.8 μ V/75 Ω)
S/N 50 dB感度	15.2 dBf (1.6 μ V/75 Ω)
周波数特性 (\pm 3.0 dB)	30 Hz~15 kHz
S/N比 (dB)	75 dB (MONO)
選択度 (\pm 400 kHz)	80 dB以上
キャプチャーレシオ	1.5 dB
ステレオセパレーション	40 dB (1 kHz)

AMチューナー部

受信周波数範囲 (周波数ステップ)	522 kHz~1629 kHz (9 kHz)
感度	27 dB μ
ステレオセパレーション (ステレオモード時)	30 dB(400 Hz)

カセット部

テープスピード	4.76 cm/秒
ワウ & フラッター	0.08 % (WRMS)
早送り・巻き戻し時間	約100秒 (C-60)
周波数特性 (\pm 3.0 dB)	30~20 kHz (120 μ s)
	25~22 kHz (70 μ s)
ステレオセパレーション	45 dB (1 kHz)
S/N比 (IHF-A)	62 dB (Dolby NR OFF)
	71 dB (Dolby B NR ON)
	77 dB (Dolby C NR ON)

CD部

レーザー	GaAlAs (ダブルヘテロダイオード, $\lambda=780$ nm)
デジタルフィルター	8倍オーバーサンプリング
D/Aコンバーター	1 Bit
回転数	500~200 rpm (線速度一定)
ワウ & フラッター	測定限界以下
周波数特性	5 Hz~20 kHz (\pm 1 dB)
高周波歪率	0.01 % (1 kHz)
S/N比 (dB)	93 dB
ダイナミックレンジ	96 dB
チャンネルセパレーション	85 dB

DSP/イコライザー部

A/Dコンバーター	4次 $\Delta\Sigma$ 方式16 bit 64倍 オーバーサンプリング
D/Aコンバーター	4次 $\Delta\Sigma$ 方式20 bit 128倍 オーバーサンプリング
イコライザー中心周波数 (Hz)	40、100、250、600、1.4k、4.8k、16k
可変範囲	-9 ~ +9 STEP

オーディオ部

最大出力	35 W × 4
定格出力	20 W × 4 (4 Ω、1 kHz、1%THD)
プリアウトレベル	450 mV
プリアウトインピーダンス	600 Ω 以下
高調波歪率	0.05%

電源部

電源電圧	14.4 V (11~16 V)
最大消費電流	7.5 A

寸法・質量

埋込寸法 (W×H×D)	178 × 100 × 155 mm
質量 (重さ)	3.0 kg

付属部品

電源ハーネス	1本
トラスネジ (M5×6mm)	6本
バインドネジ (M4×6mm)	1本
カードリモコン	1個

※これらの定格およびデザインは、技術開発にともない予告なく変更になる場合があります。

KENWOOD

株式会社 ケンウッド

〒150 東京都渋谷区道玄坂1-14-6

- 商品、商品の取り扱いに関するお問い合わせは、お客様相談室をご利用ください。
お客様相談室（東京）電話(03)3477-5335 〒153 東京都目黒区青葉台3-17-9（ケンウッド青葉台第二ビル）
（大阪）電話(06)357-5335 〒534 大阪府都島区東野田町1-20-5（大阪京橋第一生命ビル）
- アフターサービスについては、お買い上げの販売店か、または、別紙「ケンウッド全国サービス網」をご参照のうえ、最寄りのサービスステーション、各営業所にご相談ください。